

2月の予定

主の奉献	2日(土)
教会委員会	10日(日)
灰の水曜日	13日(水)
信徒の会 例会	17日(日)
子どもと共に捧げるミサ	24日(日)



The Presentation in the Temple(Ambrogio Lorenzetti, 1342)

2013年2月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2013年2月3日



日本二十六聖人殉教者

主任司祭 小林 陽一

日本二十六聖人殉教者は、1596年の暮れ、時の太閤秀吉の命により、京都奉行や大阪奉行の手によって捕らえられました。フランシスコ修道会会員(修道者、司祭)6人、イエズス修道会会員3人、キリスト信者15人でした。この24人に、長崎に連行される道中で2人が加わりました。6人が外国人、20人が日本人でした。一行が広島の上原に着いたとき、15歳のトマス小崎は、母親に遺書をしたため、次のように書きました。

「私達は長崎で十字架につけられることになっています。どうか私のことも、父上のことも、何一つ心配なさらなくてください。天国で母上様のお出でをお待ちしております。臨終の時、心の底から罪を痛悔し、イエス様にお願いすれば、救いを全うすることができます」。

京都を出発してから一ヶ月以上経って、一行は長崎の西坂に着きました。処刑日の1597年2月5日になると、人々は処刑のありさまを見ようと、竹矢来のすぐ側まで押し掛けてきました。西坂の地には26基の十字架が半円形に並べられていました。疲れ切った殉教者たちは、最後の力を振り絞って、自分の名札のついた十字架の元に走り寄り、これをしっかりと抱きました。役人達は鉄の輪をもって、荒縄で縛り付けられた26人全員を十字架にはりつけにしました。イエズス会のパウロ三木神父が、群がる人々に「私達は無罪でありながら殺されますが、決して誰をも恨みません。ただ、同胞が一日も早く救いの道に入られるよう祈るだけです」と説教しました。やがて号令一下、二人ずつ26組に分かれた刑の執行人が、一斉に槍で左右から十字に胸を突き刺しました。十字架上では、かすかにイエズス、マリアのみ名を唱えながら、一人また一人とがっくり頭を落として、その聖い魂を神のみ手に帰しました。その時、刑場を取り囲んでいたキリシタンたちは、先を争って殉教者の元に駆け寄り、その遺物を手に入れようとしていました。

殉教者の遺体は、2月から10月までの8ヶ月間、十字架の上にさらされていました。

こうして殉教した26名は、1862年6月8日に教皇ピオ9世によって列聖されました。2012年、日本のカトリック教会は日本二十六聖人殉教者の列聖150年を迎えるに至りました。

二十六聖人の伝記を読み、キリストにならい、キリストに近づこうとした二十六聖人のひたむきな信仰の熱意を、信仰年にあって、自分の信仰としたいものです。2月5日は、日本二十六聖人殉教者の祝日です。

典
礼
こ
よ
み
(
二
月
)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	金		初金ミサ(10時)	掃除
2	土	主の奉献	祝日ミサ(18時)	
3	日	年間第四主日	主日ミサ(9時)	
9	土		主日ミサ(18時)	掃除
10	日	年間第五主日	主日ミサ(9時)	
13	水	灰の水曜日	祭日ミサ(19時)	
16	土			掃除
17	日	四旬節第一主日	主日ミサ(9時)	聖堂清掃(C,D地区)
23	土			掃除
24	日	四旬節第二主日	子どもとともに捧げるミサ(9時)	

成人式、おめでとうございます！！

1月13日今年成人式を迎えるペトロ石崎雄太さん、ヨゼフ松下祐樹さん、お二人に成人式をお祝いするミサが挙げられました。松下さんのご都合により参列できませんでしたが、ミサ後は新集会室にて石崎さんを囲み和やかなサロン形式のパーティがありました。



成人式を迎えて 石崎雄太

この度は成人式を迎えるにあたり共にお祈りをさせていただきありがとうございました。

早いもので今年の3月で二十歳を迎えます。

ここまで成長してこれたのは家族をはじめ小林神父様、中和田教会の皆さんのおかげだと思います。

これからは一人の大人として中和田教会の子供たちの見本になっていけるような大人になりたいと思います。

まだまだ大人として未熟者ですが、今後ご指導をよろしく願います。

聖公会・カトリック合同「夕の礼拝」に参加して

毎年、プロテスタント系の日本キリスト教協議会とカトリック中央協議会が合同で行ってきた「キリスト教一致合同祈禱会」が、今年も1月18日～25日の間、各地で行われました。

横浜教区でも聖公会と合同で毎年行われてきましたが、今年日本聖公会・横浜教区主教座聖堂である横浜聖アンデレ教会で行われ、初めて石井さんと参加してみました。

地下鉄の三ツ沢下駅で下車し、方向が分からず迷っていたとき、ちょうど梅村司教様とお会いし、ご一緒させていただきました。シンプルで素朴な佇まいの聖堂では、双方の司祭方合わせて20名ほどが祭壇を囲んで並ばれ、「合同夕の礼拝」は午後4時から始まりました。

今年のテーマは、「神が何を私たちに求めておられるか」で、ミカ書6章6～8節を深く黙想するよう招かれています。礼拝の式次第は、「キリスト教一致合同祈禱週間」のものに則って、聖アンデレ教会によって準備されており、深い祈りと賛美に満ちたものでした。主司式は聖公会の三鍋裕主教様とカトリックの梅村昌弘司教様で、説教はカトリックの鈴木真神父様がされました。朗読されたミカ書6：6-8にご自分の司祭召命を重ねてお話されました。

鐘楼の鐘の音が夕空に鳴り響くなかで始まった礼拝は、キリストと共に歩む者の心をひとつに結び、荘厳な中に静かに、美しく続けられました。プロテスタント諸教派も加わって共に・・・というのは、まだ時が満ちていないのでしょうか。

(岩崎 好愛)

祈りのワークショップ2013

1月19日午後1時より大船教会ホールにて横浜教区かながわ第5地区共同宣教司牧委員会 祈る力を育てる部門主催による「祈りのワークショップ・信仰年に祈る」に参加しました。祈りの力を育てる部門のシスター、委員さんが進行役となり、小林神父様も含め約20人ほどでワークショップが行われました。中和田教会からは5人の参加がありました。

内容は5人ずつぐらゐの小グループに分かれ、[1]日頃の祈り [2]とりなしの祈り [3]感謝の祈りについて各グループで分かち合いをしました。グループは各テーマごとに再編成されます。分かち合いの前には次のようなルールの説明(要約)を受けました。

「分かち合いとは今の正直な気持ち、感情を言う。ただひたすらに心を傾けて聴きあう。

分かち合う人は自分の体験を通して、その時の気持ちや心の動きを表します。

他の人がどうであったかではなく自分自身のことを分かち合いましょう。

分かち合われた人はそれを贈り物として受け入れ、味わいましょう。

分かち合われたことは自分の心におさめ、その場かぎりのものとします。

体験をどこまで話すかは本人の自由」

最後に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんな時にも感謝しなさい」を歌い、今日初めて知り合った方々同士打ち解け、お茶とお菓子を頂きながら和やかに談笑しました。他の方々の祈りの分かち合いを聴かせて頂いたことで、日頃の自分自身の祈りを見直すことができ、更なる深い祈りについて考えさせられる貴重な機会を頂くことができました。

(今井 暁子)



中和田教会のことなら何でもご存じて縁の下の方的存在、小山恭子さん（75才）にお話しを伺いました。

— 受洗されたきっかけは？

長男が小学生の時、同級生のお母さんに誘われ聖書の勉強を3年間しました。その後息子たちは中高とカトリック系の学校に通うことになり、そこでも6年間ぐらい聖書の勉強をしました。主人が最初に来てくれた聖書は書込みで真っ黒になりました。その間長男が受洗し、私は迷いに迷いましたが主人は後に受洗する機会に恵まれるだろうと希望を持ち45才で受洗しました。今思えば神に招かれたのだと思います。

— ご主人が亡くなられた後、信仰で助けられたことはありましたか？

受洗して20年余り神への愛に燃え教会のためにご奉仕してきたつもりだったので、主人が亡くなってしばらくは「神はなぜ、私の主人を？」という神に対する不信感を抱き教会に来ることが全く出来なくなってしまいました。4か月程たった頃、お葬式のお手伝いを頼まれ思い切って出てみると、共同体の皆様が優しく声をかけてくださり、温かく迎え入れてくださったことで救われました。やはり神は私を見捨てなかったのだと思いました。その後は助けて頂いた共同体のために恩返しするつもりで今日にいたっています。

— 長く教会の中でご奉仕されていると批判にあったり、人と意見が対立することもあると思いますが、それをどのように乗り越えいつも笑顔で対処しておられるのかその秘訣を教えてください。

言われた時はまず自省し家に帰れば泣くこともあります。でも時間が経つと徐々に心の傷は癒え、それ以前よりも良い関係を築けることもあるし、自分を見直すきっかけにもなります。特に笑顔を意識しているつもりはありませんが、教会に入る前に「神のために、すべてに感謝の気持ちをもって配慮する」を心に念じて行動することにしていきます。



— 好きな聖句、または大切にしていることは？

共同体の中ではもちろんのこと教会に来られる未洗者の方々に対しても良き隣人になれるよう努めています。

『信徒の会』1月度例会より（1月20日）

新年を迎えて初めての集会であり、また同時に年度最後の集会でもある今回の集会でした。ということで、最初に会長の小野さんから2012年度の活動報告と会計報告がありました。会計報告は、本来会費がない会なのですが、「ヨゼフ会」から引き継いだものがあるので（約20万円）それに関わっての報告です。（詳細は「信徒大会」にて報告）

昨年一年間の歩みを通して、総括的にみていちばんの課題は、例会参加メンバーが固定化されてきていて広がりがみられないということです。今後できるだけ沢山の方々に参加していただけるようにとの願いをこめて、話し合いが進められました。

参加者からは、この集会での交流や分かち合いによって、人を知り、他の人の体験を聞かせていただくなど、この集いの中で得たものは大きいとの感想や、他の人の体験や考えや神父様のお話などが絡み合って、より豊かにされていくのですねという感想もいただきました。

新年度も新しい会長さんのもと、みんなで話し合いながら、楽しく、豊かな交わりの会になってゆきますよう心から願っております。

（岩崎 好愛）



..... 退任のご挨拶

「信徒の会」発足から2年間、岩崎様とご一緒に世話役を務めさせて頂きました。いろいろな課題を抱えながらも、皆様の暖かいご協力を頂いて、和やかな雰囲気の中で分かち合いが出来たことを心より感謝しております。本年度からは、岩淵新会長にバトンタッチしますが、倍旧のご参画とご協力を宜しくお願い申し上げます。

（小野 雅彦）

2年間、小野様と共に楽しく関わらせて頂きましたことを感謝しております。「広報なかわだ」でのご報告をとおして、少しでも楽しく豊かな雰囲気が伝わればと願いながら毎回書かせていただきましたがいかがでしたでしょうか。これからも、ご一緒に参加させていただきたいと、楽しみにしております。

（岩崎 好愛）

委員会だより

(文中敬称略)

△1月13日(日) 14名出席▽

■神父様の話

・第32回春季典礼研修会 2月11日(月・祝) 10:00～16:00
カトリック藤沢教会 「堅信への旅」
申込み2月4日まで

・信仰年にあたり堅信の秘跡の大切さ、
共同体の役割を考える

・合同入信志願式 2月17日(日)

15:00～16:30

・カトリック藤沢教会 申込み2月10日まで(希望者は小林神父まで)

・今後堅信式を戸塚・原宿教会と合同で行わせていただくことを打診した結果了承を得た。2013年当教会における堅信式の該当者は居られない。

■月修資料

「Cafe JOC(カトリック青年労働者連盟)に寄付金を一口寄付する

●典札(大宮)

・四旬節のゆるしの秘跡―2012年待降節(12月9日、16日)で約50名の参加があったが、指導司祭をお招きするにはまだ参加人数が十分でない。今回も待降節同様、小林神父様の講話+個別のゆるしの秘跡とする。

・聖堂使用のダブルブッキングに対する改善策―聖堂使用を予約する団体には予約時に「告別式等緊急事態が発生した場合、教会関係者のミサを最優先とする」旨を書面にて了承してもらふ必要がある。神父に直接申込みがあった場合も同時に総務に

申込みをして頂きダブルチェックの体制が必要である(小林神父)

・今年度も集会祭儀のリハーサルを年に一度は行い必要が生じた場合に備える。

●財務(甲斐) 決算&計画

・愛の献金については献金した月ごとにその内容を信徒に広報などを通して報告をする。

・山田さんの後任は清尾さん

●建物/修繕(福島)

活動報告&活動計画

・屋根の全面改修が今後必要になるの
で対策が必要になる。

・「教会の建物を考える会」に設備の充実などで提案のある女性もメンバーとして加わると良い(小林神父)

・土曜日の掃除のメンバーの募集をする

●宣教(井上) 活動報告と計画

・土曜日のミサの後の中高生会に楽しそうな笑顔が見られ、去年の12月にはクリスマスのお話をゆっくりできて嬉しかった。土曜日のミサには武田さんご一家がいつも来られるが、朗読、詩編など中高生たちも参加すると良い。(小林神父)

・中高生会の担当は石井悠子さんから石井洋子さんに交代

●総務(岩淵) 活動報告&活動計画

・連絡網の整備(メールやファックスを利用する)

・コンピュータ、インターネット接続、プリンタを購入する

●福祉(中島)

活動報告

●要理(森脇彰) 活動計画

・6月2日 キリストの聖体に初聖体

の予定。

ミサ後に聖体顕示(30分ほど)があるかもしれないので、初聖体のパーティに影響があることも考慮して計画してほしい(小林神父)

●行事(大宮絢、中村)

・今年度行事委員

A 森田、小野(和)、B 永島、C 中村、D 磯田

・行事委員会引継ぎ及びバザー委員会の立ち上げは早めに行う。

・聖歌の集い 5月26日(日) 大和教会
・4月28日(日)に中和田教会が練習日として使用依頼がある。

●広報(今井) 原稿依頼

●信徒の会(小野)

・2012年の活動実績を中心に報告
今年度から会長は岩淵さんに交代

■報告・討議事項(上野)

・1月5日 広町賀詞交歓会出席

(小林神父、井上、上野)

・1月8日 中和田教会の災害対策について泉区役所にて総務課危機管理担当の方から説明を受けた。耐震診断の必要性などその他アドバイスを参考に今後の災害被害者対策を考えていく。

以上

(次回委員会 2月10日)

上野委員長のコラム

《震災対策について》

皆様すでにご存知のとおり、近年中の震災発生の可能性がメディア等で言われております。当教会でも避難者受入れの避難所開設準備を検討することが委員会でも決まりました。

つきましては泉区役所危機担当係から避難所開設のための次のような基本的知識を得ましたので報告します。

一、教会建物の耐震性についての調査が必要である。

二、避難者の受入れ人数の決定が必要である(基準面積は1人12㎡)。

三、避難所の受入れ期間には短期、中期、長期の三つがあるが、教会は短期が適切と思われる。短期は避難者受入れ開始から公的機関からの物資供給開始までである。

四、避難所は家屋が崩壊した人達を受入れるのみならず、地下鉄不通のため帰宅困難者受入れも含まれると考えてほしい。

五、備蓄品は食料、飲料水、寝具、医薬品、貯水(水洗トイレに使用)等である。

六、教会所在の広町の横浜市指定避難所は中田中学であり、広町自治会が全面的に協力することになっている。同自治会と連携していただきたい。

七、御遺体の安置所については横浜市指定安置所があり、現在のところ他所への依頼は想定していない。

委員会ではこれらを基本に対策を立てて進んでいきたいと考えていますが、何と云っても皆様のご協力が不可欠であります。宜しくお願い致します。以上

